



学校だより 令和4年1月12日
土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）

文責 酒井 宏之

まどめの学期 3学期スタート

1月6日（木）、真鍋小学校に初雪が降りました。正午頃から降り始め、夕方には校庭が一面の銀世界となりました。桜の木の枝にも雪が積もり、白い花を咲かせたようで、とても美しく感じました。

そんな中、真鍋小学校の子供たちは元気に登校し、まどめの学期である3学期がスタートしました。今日は、始業式の後、各学級で一人一人の目標を決めました。3学期は勉強や生活でのまどめということもあり、それぞれが自分がかんがりたいことを具体的に目標として立てられたようです。また、新しい係活動や代表委員なども決定し、3学期に対する意欲も持てたようです。3学期の登校日数は、6年生が49日、1～5年生が51日です。1・2学期に比べると、とても短い学期です。それぞれの目標に向かって努力を重ね、誰もが充実した1年間だったと思えるような学期にしてほしいものです。



1月7日（金）撮影

3学期始業式が行われました



1月6日（木）、第3学期の始業式を行いました。始業式では、代表児童による作文発表（3学期の抱負）がありました。今回は6年4組の内木場 優花さんが発表してくれました。その中で「6年生としての自覚を持って生活する」とありました。卒業に向けて様々なことにしっかり取り組んでいく、という内容でとても素晴らしい発表でした。

12月28日（火）、2学期終業式が行われました。代表児童による2学期の反省では、以下の2人が2学期を振り返り、学習面や生活面での反省を堂々と発表することができました。

1年3組 西口 真由 さん
4年1組 岡部 克海 さん

「土浦郷土かるた」真鍋小学校地区大会

1月9日（日）、二中地区公民館において、真鍋小地区子ども会育成連合会の主催で「土浦郷土かるた」真鍋小学校地区大会が開催されました。真鍋小の子供たちが2人組でチームを編成し、リーグ戦そしてトーナメント戦を行いました。結果は以下の通りで、3位までが中央大会進出となるそうです。当日は寒い中でしたが、白熱した大会となりました。2月5日（土）に各地区を勝ち抜いてきた代表が集まり中央大会が行われます。ぜひ真鍋小地区から上位進出することを願っています。がんばってください。



「土浦郷土かるた」

優勝 江崎 優誓さん(6年) 吉岡 華さん(4年)
準優勝 渡邊 陽介さん(6年) 永田 莉央さん(6年)
第3位 小澤 樹さん(5年) 小澤 新花さん(3年)



校長室より 「箱根駅伝に想う」

今年もお正月に箱根駅伝が開催されました。私は箱根駅伝が大好きで、毎年必ず現地に出かけ、応援していました。まず神奈川県平塚の沿道で観戦し、その後電車で移動し、東京大手町でゴールを待つ、というパターンの観戦をずっと続けてきました。大手町での大歓声の中を走る選手を生で見ると、本当に感動します。残念ながら去年と今年の2年間は、新型コロナの影響で現地に行けず、テレビ観戦をしています。選手がひたむきに、一生懸命走る姿を見ていると、感動と同時に元気がもらえます。ラストスパートで懸命に走り、次の走者に襷を渡す姿は、素晴らしいと思います。

箱根駅伝の襷は出場大学が各校毎に用意するそうです。選手にとって襷は、ただのバトンではなく、母校の名誉を担うユニホームの一部と考えているそうです。中には何代にも渡って同じ襷を保管して、箱根駅伝の日だけに使用する大学もあるようです。出場する選手の1番の目標は、襷をつなぐことです。でも箱根駅伝の復路では、トップとの差が20分以上開くと緑り上げスタートとなってしまいます。今年の箱根駅伝でも必死に走ってきた選手が中継地点に着いた時、時間切れで次の選手の姿はなく、伝統の襷を渡せず泣き崩れる姿がありました。改めて選手が襷を、そして伝統をつなぐことへの熱い想いに心を打たれました。

真鍋小学校の6年生は間もなく卒業します。真鍋小の伝統の襷を途切れることなく5年生に引き継いでほしいものです。

